

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふりがな 氏名	まつい ひろし 松井 広志
(研究テーマ名) 模型文化の社会学的研究 —記号・物質・記憶—	
(研究活動実績) <p>上記の研究テーマに関連した論文および研究報告は、以下の通りです。</p> <p>論文</p> <ul style="list-style-type: none">・松井広志, 2013, 「ポピュラーカルチャーにおけるモノ——記号・物質・記憶」『社会学評論』63(4), 日本社会学会, 503-518. <p>学会報告</p> <ul style="list-style-type: none">・松井広志, 2013, 「模型文化の歴史社会学——戦前期における記号・物質・記憶」日本社会学会第86回大会, 慶應義塾大学, 2013年10月 <p>今年度の研究活動としては、以上の論文と学会報告を含む博士論文の準備を入念に行った。模型と〈実物〉の関係について、「モノとしてのメディア文化」という視点から論じる。その内容は、次のようになる予定である。</p> <p>序章で博士論文全体の問題設定を行い、先行研究を整理する。第1章は、上述の査読論文をもとにした理論枠組が提示される。続く第2章では、分析方法と具体的な記述の対象を定める。その後の第3章から第6章は、それぞれ戦前期、戦中期、戦後1970年代まで、1980年代から2000年代までの時期に区切って、具体的な模型メディア史が記述される。そして第8章では、こうした歴史記述から、モノとメディア、社会の関係について総合的に考察する。</p>	